

2009 年に足利商工会議所内に「足利 5S 学校」が設立され、産業界が中心となり「足利流 5 S」実践活動の普及や人材育成が進められています。足利流 5 S は「整理→清掃→整頓+清潔、躰」であり、この順序も大切であるとされています。

「5 S」はこれまで市内企業において数多く実践され、業務改善、働き方改革などの実績を上げてきました。また海外企業への指導も行っており、過去には足利 5 S 学校の木村先生が「フィリピン味の素」において実践指導を行い、大きな成果をあげたそうです。

海外での「5 S」の認知も進んでおり、JETRO とちぎ貿易情報センターによると、例えば「ベトナム北・中部に所在する優良企業情報」の中で、企業の評価項目の 1 つに「5 S の取り組み」があります。現地企業にとっても「5 S」が自社のアピールポイントとなっていることに驚きました。むしろ日本よりも普及しているかもしれないとのことでした。

今後、日本がその強みを生かしていく上で、このような頭脳やノウハウというのは大きな武器になるのではないかと考えています。

足利市は「世界 5 S サミット」が 2 回開催されるなど、まさに日本の 5 S 先進地であり、「足利流 5 S」にはその力と可能性があると感じています。

昨年、栃木県とベトナムのビンフック省が協定を締結しました。ビンフック省はベトナム北部ハノイから 80 キロに位置し、今後産業分野での発展が期待されるエリアとのことでした。足利

市としては栃木県の動きと連動し、「5S」を切り口とした展開を図っていきたいと思っています。既に栃木県国際課にも本市の意向を伝え、協力して取り組んでいくことで調整を進めています。

今後は、ベトナムにおける足利流5Sの展開や、現地企業や経済団体・大学等からの視察団の受け入れも期待できます。「5S」をキーワードに、技能実習生はもちろん、それ以上の人材を受け入れることは本市企業にとっても有効であり、さらには人材交流の延長線上に本市企業と現地企業とのビジネスマッチングを目指したいと考えております。

栃木県やJETROとちぎ等のお力をお借りしながら、実現に向けて努力していきます。